

私たち尚絅大学現代文化学部1年の12名は前回の議会傍聴に続き、大津町議会広報委員の方々と会合を持ちました。

その際の質疑応答や感想についてお届けします (^^)

☆「ムラホン」ペア → 村本優紀・本田杼聖

♪「マスマツ」ペア → 増田聖・松岡あかり

2組それぞれで
書きました!!



1. 議員の活動について教えてください！

Q. 議会の場以外ではどのような仕事をしていますか？

🗨️ 農業や新聞配達、車掌、自営業、専業議員などそれぞれ。政治や経済などの知識を磨くために本を読んだり研修に行ったり…町民から困ったことを相談されれば情報収集をしたり現地に出向いたりも！ 他にも小中学校での読み聞かせや、あいさつ運動を行うなど、地域に寄り添って取り組んでいます。 (☆ムラホン)

🗨️ 多くの議員は農業や会社員など他の仕事との掛け持ち。その合間に小学校など現場に出向いたりボランティアなどに参加して、地域の現状と住民の声を聴いています。また、幅広い知識が必要とされるため勉強会への参加などで情報収集をし、自己の見解を深めています。 (♪マスマツ)

Q. 「検討する」と回答された問題は実際に解決できていますか？

🗨️ できている問題もそうでない問題も。どこに予算を振り分けるかを考えた結果、実現できないものもある。議員一般質問からの提案に対して、「検討する」と答弁があった場合、数年前からは検討状況が町ホームページ上で分かるようになっていきます。 (☆ムラホン)

🗨️ 実際に検討され、3か月後の議会で結果の報告が文書によって呈示されます。「前向きな検討」の末、実行しかねるものには、予算の問題や地主の合意が得られない等、きちんと理由づけがされています。 (♪マスマツ)



Q. どんな人が傍聴にきますか？

☞家庭を持つと議会に興味を持つ方が多い。また、年配で時間のある方や、政治に興味がある方も傍聴しに来られる。誘われて初回は来るが、2回目に来る方が少ない…。地区の問題がかかわる場合は議員が区長を誘うこともあります。傍聴者が多いと議員の気持ちに変化があり、また、職員の答弁も丁寧になるなど、町民が議会の活動をしっかり見るのは意外な効果もあるようです。 (☆ムラホン)

☞保護者の方などは学校関係の疑問を確認したいなど、普段のちょっとした疑問が議会傍聴につながっています。また傍聴がきっかけで実際に議員になった方もいるとのことでした。時間のある年配の方や政治に興味のある方が特に傍聴に来ることが多く、さらに関心の高い一部の問題のみ傍聴に来られる方など様々な背景があるようです。 (♪マスマツ)



2. 議会だよりを読んでの感想

議会だよりの印象

若い人を中心にあまり目を通さない人が多いとの話でした。私たちには専門用語や予算等、書いてあることが正直難しく感じました。また、絵や写真が多くそれに気を取られ、逆に内容が頭に入っていないという意見もありました。

町民から興味を持ってもらうにはどうしたらよいか

議員個人の現地調査レポートを載せたり、私生活に関することが載っていれば、まずは人に興味を持って読みたくなります。また、小学生でも分かるようなかみ砕いた説明欄を入れるなどの意見が出ました。

3. 感想

☞議員の方々と意見交換をする貴重な経験ができ、質問の際には具体例を挙げて分かりやすく教えていただきました。普段は自身の仕事をしながら質問のために情報収集をしたり、町民の声を聴いたりするなど、大津町をより良くするために様々なことをしているのだと分かりました。

議会だよりをより良いものにしようという熱意を感じ、多くの人に議会への興味を持ってもらおうと工夫を凝らしていて、過去の紙面と比べてもとても読みやすくなっています。ぜひ多くの方に読んでほしいです。 (☆ムラホン)

☞議員の方々の議会外での活動に興味があったので知ることができて良かったです。

「前向きに検討する」との言葉には、議会での言い逃れのようなイメージがあり、実際には検討もされないのだろうと思っていました。しかし、大津町では議題がきちんと検討され文書で報告されるという点に驚きました。議会傍聴に来られる方は政治に興味がある方だけだと思っていましたが、実際は様々な理由で傍聴に行く方がいると知り、議会はもっと身近に考えていいものだと思います。

(♪マスマツ)

